

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和3年11月19日（金）
- 2 確認箇所
4号機西側（陸側遮水壁K排水路交差付近）
- 3 確認項目
陸側遮水壁測温管の温度上昇の状況

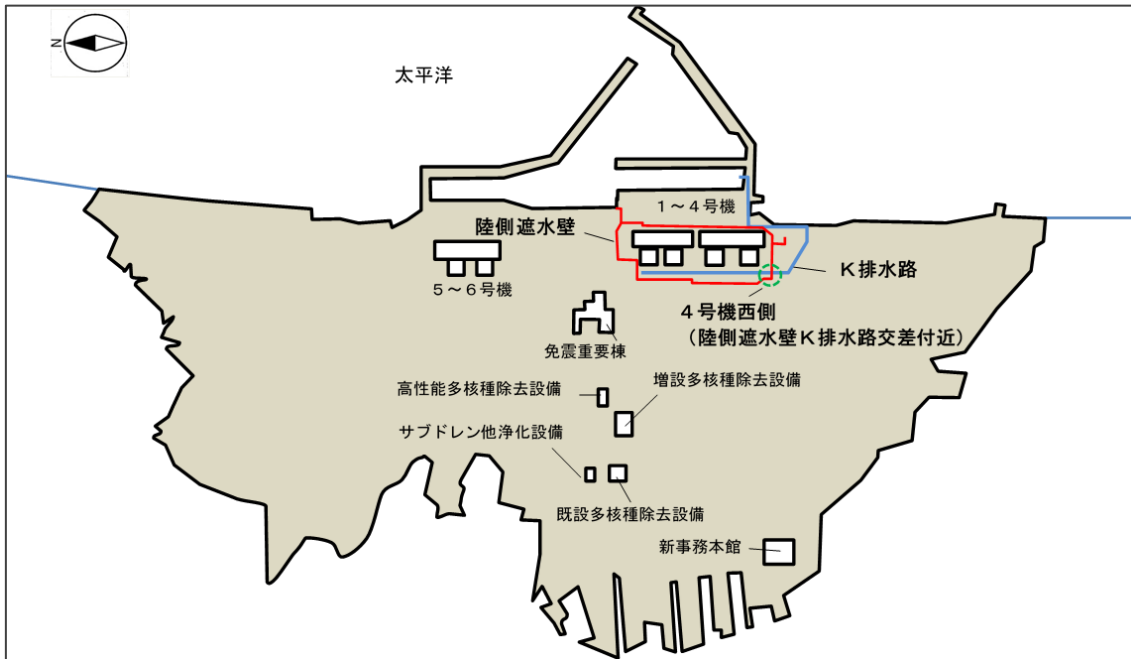
4 確認結果の概要

福島第一原子力発電所では、原子炉建屋等へ流れ込む地下水の量を減らすため、1～4号機建屋周囲に陸側遮水壁（凍土壁）を設置している。

陸側遮水壁について、一部の地中温度が今年8月下旬から上昇し、10月13日時点で0℃を超えている状態が継続している事象が確認された。その後の調査で地下水がK排水路底部のコンクリート剥離箇所から排水路内へ地下水が流入していることが確認されたことから、陸側遮水壁周りの地盤調査を行うための掘削作業が11月10日より実施されている。

前回確認時（11月16日）に引き続き、遮水壁外側（西側）の地盤・地下水の状況を確認するため、地盤掘削作業等が行われていたことから状況を確認した。（図1）

- ・前回確認時には深さ約1m以上の穴が2箇所掘られていたが、今回確認した範囲では新たに1箇所掘られており、計3箇所となっていた。（写真1）
- ・北側の掘削箇所②（写真1参照）については養生シートが設置されていた。また、掘削箇所①及び③には、確認した範囲では氷及び地下水の湧出等は見られなかった。（写真2）
- ・東京電力によると、地表面から深さ1m以上掘り下げた後に、さらに約1m以上の穴を鉛直に掘り、深部の地中温度を測定するとともに、地盤の状態を確認するとのことである。（図2）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
遮水壁外側(西側)の掘削箇所の
状況(令和3年11月16日撮影)



(写真1-2)
同左(令和3年11月19日撮影)



(写真2-1)
掘削箇所①(中央)の状況



(写真 2 - 2)
掘削箇所②（北側）の状況



(写真 2 - 3)
掘削箇所③（南側）の状況

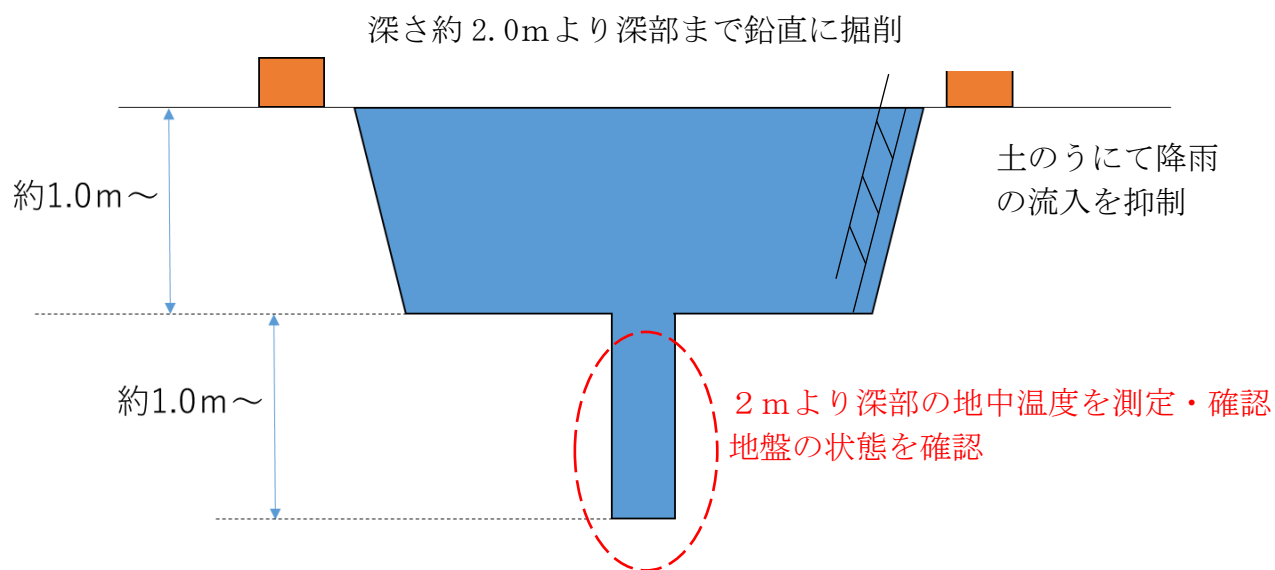


図 2 掘削調査計画のイメージ

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。